

# 競技注意事項

## 1. 競技規則について

本大会は2008年度（財）日本陸上競技連盟競技規則及び本大会申し合わせ事項によって実施する。

## 2. 練習について

10月23日（木）～26日（日）の期間に「練習会場使用日程」に示す時間帯で、『13. 練習会場の使用について』にもとづき練習をしてもよい。（競技役員の指示に従い練習すること）

## 3. 招集について

(1) 招集所はマラソングート（100mスタート地点後方）に設ける。

(2) 招集の方法

- ① 競技者は、招集所に提示した出場競技者一覧表（組別になっている）に、チェック（自分のナンバーを○で囲む）をする。このチェックは代理人でもよい。
- ② 出場競技者一覧表のチェックを終えた競技者は、招集完了時刻10分前に招集所内の席で待機し、最終点呼を受ける。その際、競技役員にユニフォームのナンバーカードの確認を受け、腰ナンバー標識(2枚)を受け取り、出発までに左右腰部やや後方につける。（トラック競技のみ）あわせてスパイクピンの長さ、靴底の厚さ（走高跳・走幅跳・ジャベリックスロー）及びシャツ・パンツ等の商標の点検を受ける。代理人による最終点呼は認めない。
- ③ 2種目を同時に兼ねて出場する競技者は、招集完了時刻までに、その旨を本人または代理人が、招集所に用意した書類で競技者係に届け出る。トラック競技が先に開始される場合には、トラック競技終了後直ちに当該種目競技場所に移動し、担当競技役員に申し出る。
- ④ リレーチームの編成メンバーは、どのラウンドにおいてもその競技会のリレーまたは他の種目に申し込んでいる競技者であれば出場することができる。ただし、A・B・Cの各クラスから1名は必ず出場しなければならない。どのラウンドにおいても出場するメンバーのうち少なくとも2人はリレーに申し込んだ競技者でなければならない。最初に出場した競技者は、その後のラウンドを通して、2人以内に限り、他の競技者と交代することができる。  
リレー競技に出場するチームは競技者（4名）の氏名と走者順及びナンバーを所定のオーダー用紙に記入し、競技者係に提出する。その締め切り時刻は第1組招集完了時刻60分前とする。準決勝・決勝についても必ず提出する。ただし、メンバーの変更は2名までとする。（競技規則第170条⑰⑱）
- ⑤ 招集完了時刻は、競技日程の通りとする。
- ⑥ 招集完了時刻に遅れた競技者は、当該種目を棄権したものとみなして処理する。
- ⑦ やむを得ず棄権する時は、競技者の所属する監督が「棄権届」に、その旨を記入して招集完了時刻までに競技者招集場所の競技者係に提出する。

## 4. ナンバーカードについて

(1) ナンバーカードは、主催者が配布したもの（胸・背用2枚）を使用し、配布された大きさのままユニフォームに固定する。なお、走高跳の競技者は、背部または胸部のみでもよい。

（競技規則第143条⑦⑧）

(2) 1,500m及び3,000mは特別ナンバーカードを使用する。

(3) トラック競技に出場する競技者は、写真判定用の腰ナンバー標識(2枚)を配布する。（招集時に受け取り、右腰部やや後方に貼りつける。）

(4) ナンバーカードとプログラムの配布については次のように行う。

|        |             |                          |
|--------|-------------|--------------------------|
| 23日（木） | 11:00～17:00 | 日産スタジアム一般利用者入口（柱番号277付近） |
| 24日（金） | 8:00～17:00  | 〃                        |
| 25日（土） | 8:00～17:00  | 〃                        |
| 26日（日） | 8:00～13:00  | 〃                        |

## 5. 競技場内への入退場について

(1) トラック競技出場者の入退場

- ① 招集場所から競技者係の誘導により競技場に入場する。
- ② フィニッシュ後、それぞれ競技場内の通路を利用してスタート地点へ戻り、マラソングート(100mスタート地点後方)から退場する。
- ③ 決勝において1～3位の入賞者は、入賞者係によってインタビュー室に誘導される。

- (2) フィールド競技出場者の入退場
  - ① 招集場所から競技者係の誘導により競技場に入場する。
  - ② 跳躍及び投てき競技役員の誘導により各ゲートから退場する。
  - ③ 決勝において1～3位の入賞者は、入賞者係によってインタビュー室に誘導される。

6. 競技の抽選及び番組編成について（レーン順・試技順）

- (1) 予選・準決勝・決勝の組み合わせ及び全競技のレーン順・試技順は、競技規則第166条・第167条により主催者が公平に決める。
- (2) トラック競技のレーン順・フィールド競技の試技順は、プログラム記載のナンバーの左に数字で示す。
- (3) トラック競技の準決勝・決勝のレーン順は、招集所付近に掲示する。
- (4) タイムにより次のラウンドに進む競技者の決定について同記録があり、レーン数が不足する時の処置は、写真判定員主任が、同記録者の写真を拡大して、より細かく優劣を判定して進出者を決める。それが不可能である時は、抽選によって次のラウンドへの進出者を決める。（競技規則第167条）

7. 競技について

(1) トラック競技について

- ① レーンで行うトラック競技においては、欠場者のレーンは空ける。
- ② 競技運営上、1～9レーンを使用することがある。
- ③ 短距離走では、競技者の安全のため、フィニッシュライン通過後も自分に割り当てられたレーン（曲走路）を走る。
- ④ 4×100mリレーの各走者は、同一のユニフォームでなければならない。
- ⑤ 4×100mリレーの第2・第3・第4走者は、出発係から渡されたマーカ―を1ヶ所使用することができる。渡されたマーカ―以外の使用は認めない。
- ⑥ ハードル種目の規格

| 性別 | 種別 | 高さ     | ハードル間 | 性別 | 種別 | 高さ     | ハードル間 |
|----|----|--------|-------|----|----|--------|-------|
| 男子 | A  | 0.991m | 9.14m | 女子 | A  | 0.762m | 8.50m |
|    | B  | 0.914m | 9.14m |    | B  | 0.762m | 8.00m |
|    | C  | 0.840m | 8.50m |    | C  | 0.762m | 8.00m |

(2) フィールド競技について

- ① 跳躍・投てき（ジャベリックスロー）競技者は、主催者が用意したマーカ―を2ヶ所使用することができる（曲走路内に限る）。渡されたマーカ―以外の使用は認めない。
- ② フィールド競技における競技場内での練習は2回とし、すべて競技役員の指示に従う。指示以外の練習は認めない。
- ③ 跳躍競技の競技場所は、1組はピットA又はF、2組はピットB又はGとする。
- ④ 走幅跳は、予選を実施しない。参加人数が極めて多い場合は、2つの並行するピットで2組に分かれて決勝を開始する。3回の試技後、上位8名がピットFで残りの3回の試技を行う。この際、4回目の試技を行う前には、不公平が生じないよう十分な足合わせの時間を設ける。
- ⑤ 走高跳は、予選を実施しない。並んで設けられたピット2ヶ所に分かれて決勝を開始する。それぞれ最後の高さまで競技を行い、それぞれのピットの結果を総合して順位を決定する。優勝決定戦が必要な場合のみ、ピットAで実施する。
- ⑥ 砲丸投・円盤投・ジャベリックスローは予選を実施しない。
- ⑦ 投てき競技における「身体の保護」については競技規則第187条④に従う。

(3) 抗議は、競技規則第146条に従って定められた時間内に、競技者自身または監督が口頭で審判長（大会本部に申し出る）に行う。さらに、この裁定に不服の場合は預託金（1万円）を添え、当該総務員を通じて上訴審判員に文書で申し出る。なお、この裁定は最終の決定となる。

(4) 競技場内での助力は禁止する。スタンドからの助言については競技運営ならびに他の競技者の競技に妨げにならない範囲で認めるものとする。文章をもって連絡することや当該競技場所を勝手に離れることはできない。また、ビデオ装置・カセットレコーダー・ラジオ・CD・MD・トランシーバー・携帯電話もしくは類似の機器等を競技場内に持ち込むことはできない。（競技規則第144条）

(5) 上記を含む不当な行為をした競技者には警告が与えられ、場合によっては、当該競技から除外される。警告は黄色のカード、除外は赤色のカードを示すことによって競技者に知らされる。

（競技規則第125条⑤）

(6) プログラムに記載された競技者が理由なく出場しなかった時は、本連盟、加入団体主催または後援する競技会に出場を認めない措置を講ずることがあるので、欠場する場合は必ず棄権届を競技者係ま

で提出する。

#### 8 バーの上げ方について

走高跳決勝におけるバーの上げ方は、最後の一人になり、優勝が決まるまでは下記の通りとする。

\* 第1位が同成績の場合、順位決定のためのバーの上げ下げは、走高跳では2cmとする。

| 種目  | 性別 | 種別 | 練習   | 1    | 2    | 3    | 4    | 5    | 6    | 以降  |
|-----|----|----|------|------|------|------|------|------|------|-----|
| 走高跳 | 男子 | A  | 1m65 | 1m70 | 1m75 | 1m80 | 1m83 | 1m86 | 1m89 | 3cm |
|     |    |    | 1m80 |      |      |      |      |      |      |     |
|     | 女子 | A  | 1m40 | 1m45 | 1m50 | 1m55 | 1m58 | 1m61 | 1m64 |     |
|     |    |    | 1m55 |      |      |      |      |      |      |     |
|     |    | B  | 1m35 | 1m40 | 1m45 | 1m50 | 1m55 | 1m58 | 1m61 |     |
|     |    |    | 1m50 |      |      |      |      |      |      |     |

#### 9. 競技用器具について

- (1) 競技に使用する用器具は、すべて主催者が用意したものを使用しなければならない。
- (2) 練習用としても、個人の用器具を競技場内に持ち込んで서는ならない。
- (3) 競技場に備えてある投てき用器具は、次の通りである。

| 品名                                    | メーカー名 | 規格               | 数量     | 総数 |    |
|---------------------------------------|-------|------------------|--------|----|----|
| A 男子砲丸 (5.000kg)                      | ニシ    | 鉄製 直径 110.0 mm   | 8      | 8  | 8  |
| C 男子砲丸・B 女子砲丸<br>C 女子砲丸 (2.721kg)     | ニシ    | 鉄製 直径 90.5 mm    | 12     | 12 | 12 |
| A・B 共通男子円盤<br>A・B 共通女子円盤<br>(1.000kg) | ベルグ   | スーパーセグラー         | 5      | 5  | 22 |
|                                       | ペーサー  | ギル ホローウッドスター     | 5      | 5  |    |
|                                       | ニシ    | スーパー<br>ウッド      | 8<br>4 | 12 |    |
| ジャベリックスロー                             | ニシ    | ターボジャブVII-ソフトタイプ | 30     | 30 | 30 |

- (4) 投てき物の重量は、下記の通りである。

| 性別 | 種別     | 種目     | 重量       |
|----|--------|--------|----------|
| 男子 | A      | 砲丸     | 5.000kg  |
|    | C      | 砲丸     | 2.721kg  |
|    | A・B 共通 | 円盤     | 1.000kg  |
| 女子 | B      | 砲丸     | 2.721kg  |
|    | C      | 砲丸     | 2.721kg  |
|    | A・B 共通 | 円盤     | 1.000kg  |
| 男女 | A・B 共通 | ジャベリック | 0.300 kg |

#### 10. 競技用靴について

スパイクピンの長さは9mm以内とする。ただし、走高跳・ジャベリックスローは12mm以内とし、スパイクピンの先端の直径はすべて4mm以内でなければならない。なお、スパイクピンの数は11本以内とする。スパイクの先端が鋭利なものは使用してはならない。(143条②～⑥)

#### 11. 表彰について

- (1) 最優秀選手賞は男子1名、女子1名の計2名を選考委員会で選び、競技会終了後授与する。
- (2) 各種目の優勝者ならび2位、3位の入賞者の表彰は、表彰台で行う。
- (3) 表彰を受ける競技者は競技終了後、入賞者係によりインタビュー室経由で正面スタンド下に設けられた被表彰者控室に誘導され待機する。
- (4) 4位以下の入賞者は、正式発表30分以降に賞状渡し所《日産スタジアム一般利用者入口(柱番号277付近)》で受け取る。

## 12. 一般的注意事項

- (1) IDカードは各参加団体に1枚発行する。いかなる理由でも再発行はしない。
- (2) 商標について  
商標等の規定については、「競技会における広告および展示物に関する規定」に違反したものについて主催者で処置する。
  - ① 上半身の衣類（シャツ・レオタード等）  
製造会社名／ロゴ：文字の高さ4cm以内、トータルのロゴの高さは5cm以内、面積30cm<sup>2</sup>以内の長方形（トレーニングウェアやTシャツは文字の高さ4cm以内、トータルのロゴの高さは5cm以内、面積40cm<sup>2</sup>以内の長方形）とする。製造会社／ロゴの表示は1カ所のみとする。
  - ② 下半身の衣類（ソックス・ショーツ・タイツ等）  
製造会社名／ロゴ：高さ4cm以内、面積20cm<sup>2</sup>以内のもの（ソックスは高さ2.5cm以内、面積5cm<sup>2</sup>以内）を1カ所表示することができる。
  - ③ バック  
製造会社名／ロゴ：25cm<sup>2</sup>以内のものを2カ所まで表示することができる。
- (3) 応急処置、その他健康上の問題が生じた場合は医務室（208号室）に連絡する。
- (4) 競技場での疾病・傷害等の応急処置は主催者が行うが、以後の責任は負わない。
- (5) 大会期間中の貴重品の保管は各自で行う。盗難にあっても責任を負いかねるので十分注意する。
- (6) 遺失物については大会庶務係で保管する。保管期限は10月26日（日）競技会終了までとする。
- (7) 記録はそのつど発表するが、別に日産スタジアム4階メインスタンド通路、選手招集所及び日産フィールド小机入口付近に設置の記録掲示板に掲示する。
- (8) 応援旗、部旗、横幕、のぼり等はバックスタンドの1階席後方手すり部分のみとする。いずれの場合も個人名を記した旗、横幕、のぼり等を使用してはいけない。また、スタンド・スタンド裏通路におけるテント・シートの使用は禁止する。スタンド裏通路（コンコース）はシートの使用のみとする。ただし、通路半分、内側とする。また、シート禁止区域には敷かないようにすること。
- (9) 提出書類等は次の通りとする。

|   | 提出書類     | 提出場所        |
|---|----------|-------------|
| ① | 棄権届      | 競技者招集場所     |
| ② | 2種目同時出場届 | 同上          |
| ③ | リレーオーダー届 | 同上          |
| ④ | 上訴申立書    | 総務員（預託金1万円） |

- (10) 「記録証明書」を希望する競技者は、大会庶務係（ナンバーカード配付場所）に500円を添えて申し込む。

## 13. 練習会場の使用について（練習会場注意事項）

### (1) 主競技場（日産スタジアム）

- ① 10月23日(木)は、トラック競技(ハードルを除く)のみ開放する。開放時間等は、『練習会場使用日程』にて確認する。
- ② 練習時の競走路の使用は、『(2)補助競技場』で示したレーンを使用する。主競技場での飲食は一切禁止とし、ゴミはすべて持ち帰る。

### (2) 補助競技場（日産フィールド小机）

- ① 10月23日(木)は、ハードル、跳躍競技のみ開放する。
- ② ウォーミングアップは、第1曲走路入口～第2曲走路8レーン出口までの外側芝生部分で行う。フィールド内の「芝」部分への立入は禁止とする。
- ③ 競走路の使用は、以下の通りとする。なお、逆走は固く禁止する。
  - \* 1～2レーン …… 800m以上の種目
  - \* 3～5レーン …… 100m～400m
  - \* 6～8レーン …… リレー & ハードル
  - \* メイン直走路 …… スターティングブロック&ハードルの設置
- ④ 補助競技場における練習は、種別の競技時間に合わせて「優先使用時間帯」を設けることがある。
- ⑤ 私物をレーン上に置く等で、レーンを占有しない。

(3) **投てき練習場** (投てきは、『練習会場使用日程』で示した通りとする)

- ① 「投てき練習場」での練習は、『練習会場使用日程』で示した通りであるが、「投てき練習場」の使用状況によっては競技役員判断により練習の種目・時間を変更する場合がある。
- ② 危険防止のため、荒天等で安全の確保が困難な場合は、予定時間内においても練習会場を閉鎖することがある。
- ③ サークル・ピットでの練習は、順番を待つ人がいるときには、1人1回につき、1投とする。
- ④ 投てき器具は、必ず各自で持参した物を使用する。(貸し出しはしない)

(4) **雨天練習場 (日産スタジアム1F)**

- ① 雨天時のみ開放する。その際、開放時間等は、「練習会場使用日程」による。
- ② この場所での飲食等は一切禁止とし、ゴミはすべて持ち帰る。
- ③ 競走路・助走路の使用は、入り口付近の案内板に示されたレーンを原則使用する。

(5) **その他**

- ① 練習は各個人が、指定された場所・時間で行い、「事故防止」に万全を期す。なお、練習中に発生した疾病・傷害等については、応急処置は主催者において行うが、以後の責任は負わない。
- ② 練習に必要な用器具は、各自が持参する。
- ③ 荷物などは、個人が責任をもち管理する。ゴミは所定の場所で処理する。
- ④ 会場内の入退場時は、必ずIDカードを明示する。また、監督・コーチは会場内においては常にIDカードが確認できるように携帯する。

**練習会場使用日程**

| 練習会場     | 主競技場                          | 補助競技場                              | 投てき練習場   | 雨天練習場                    |
|----------|-------------------------------|------------------------------------|--|--------------------------|
| 条 件      | 全天候型                          | 全天候型                               | JTの助走路は全天候型  | 全天候型                     |
| トラック     | ◎                             | ◎                                  | ×  | ◎                        |
| 跳 躍      | ×                             | ◎                                  | ×  | ×                        |
| 投 て き    | ×                             | ×                                  | ◎  | ×                        |
| 10/23(木) | 11:30~17:00<br>*ハードル練習は、できない。 | 11:30~17:00<br>*トラック種目は、ハードルのみとする。 | 男女SP : 11:30~16:00<br>AB男JT : 11:30~12:40<br>AB女JT : 12:40~13:50<br>AB男DT : 13:50~15:00<br>AB女DT : 15:00~16:10 | 12:00~17:00<br>*雨天時のみの開放 |
| 10/24(金) | ×                             | 7:30~18:00                         | 男女SP : 8:00~16:00<br>AB男JT : 9:00~11:20<br>AB女JT : 11:20~12:50<br>AB男DT : 13:00~14:30<br>AB女DT : 14:30~16:00   | 7:30~18:00<br>*雨天時のみの開放  |
| 10/25(土) | ×                             | 7:00~18:00                         | 男女SP : 7:45~16:00<br>AB男DT : 7:45~8:40<br>AB女JT : 13:00~16:00<br>AB女DT : 8:40~12:40                            | 7:00~18:00<br>*雨天時のみの開放  |
| 10/26(日) | ×                             | 7:30~18:00                         | C男SP : 8:00~11:00<br>AB女JT : 8:00~9:50   | 7:30~18:00<br>*雨天時のみの開放  |

\* 備 考

- ① 砲丸投のピットは、2面あるので、Aを男子、Bを女子とする。
- ② SP = 「砲丸投」、DT = 「円盤投」、JT = 「ジャベリックスロー」の略